



黄色い花のシキミ(左上)、白い花をつけるアセビ(右上)、食べられる草のヨメナ(中)、食べると危険なトリカブト(下)

# 色・形・匂いを感じてスケッチ ポン酢や酢味噌がおすすめ

一九二二年に東京市から贈られたポトマック河畔の桜が満開を迎えたというニュースが、三月十九日に流れました。百周年を記念して、桜祭りが盛大に行われたようです。春は、野山の木の芽や草の芽・咲きにお花々が元気を出すときですと宣言しています。この力強いエネルギーを肌に感じながら、里山・里野を散策しましょう。

三月から四月にかけて、クロモジ、シロモジ、ダンコウバイ、カナクキノキ、シキミが黄色い花を、ヤマツツジ、コバノミツバツツジ、ウグイスカグラが赤紫の花を、クサイチゴ、ヒロドイチゴ、ナガバミジイチゴ、アセビが白い花をつけます。林床にシユンラン、シヨウジョウバカマ、カタクリ、イチリンソウ、イカリソウが見られます。

## 七塚四季の環境学習



### ①春の山野草を楽しむ

「ヨメナ」と詠っています。早春の野原で若菜摘みを楽しんでいるようですが分かります。四月に食べられる木の芽は、タラノキ、コシアブラ、タカノツメ、ハリギリ、リョウブ、クサギ、ニワトコなどがあります。食べられる草は、ヨメナ、タンポポ、ヤブカンゾウ、ノカンゾウ、クサソテツ、オオバキボウシ、ノビル、ヨモギ、ツクシなどがあります。

春の山野草は、さつと茹でるか、アルミホイルで包み焼きにして、ポン酢又は酢味噌で食べるのがおすすめです。守ってほしいことは二つ！①採り過ぎないこと、②種類が分からないものは採らないこと(トリカブト、コバイケイソウ、ハシリドコロを山菜と間違えて食べる事故が時々起きています)。(NPO法人七塚原自然体験活動研究センター 理事長 西村 清巳)

## せらの新エネ総合見本市

脱温暖化プロジェクトせら(世羅町地球温暖化対策地域協議会)が主催する「せらの新エネ総合見本市」が二月十九日甲山農村環境改善センターで開催され、町内外から約二百五十人が参集した。このイベントは、世羅町・近隣市町から企業・団体が集まり、参加者に環境にやさしい新エネルギーの特長や効果を伝え、親しんでもらうことを目的に初めて開催された。

屋外では企業などによるたくさんテントが軒を連ねた。もみ殻でできた固形燃料を作る機械、ペレットストーブ、廃油を精製したBDF、竹チップ製造機など、エコな燃料も行われた。度から始めた「グリーンカーテンプロジェクト」の表彰式も実施され、受賞者には表彰状と、世羅高等学校の生徒が心をこめて作った生ごみ堆肥を使った花のプランターが記念品として贈られた。参加者からは「さまざまな視点からエコを体感できた」と感想が聞かれた。

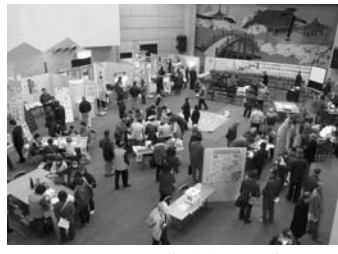
脱温暖化プロジェクトせらは、「脱温暖化せらのまちづくりプラン(世羅町地球温暖化地域推進計画)」に基づき取り組みを進め、今年で四年目を迎える。今後も、各主体が連携し、町民の意識へ働きかけながら、まちぐるみで脱温暖化を目指す活動に注目したい。(地域活動支援センター)



太陽光発電システムの展示ブースで解説を聞く来場者

## エコなエネルギーのパワー体感 町内外の業者が多数出展

相乗りがかるた釣り、廃油ろうそくづくりなど六つのブースを設けた。参加者は、思い思いに足を運んで体験し、家でエコを実践するヒントを習得した。また、家庭からのCO2排出量を測る「省エネ診断」が紹介された。その他、新割り体験コーナーや、おなじみとなった「せら夢農味(ゆめのみ) 焼き(間伐材で焼くエコなお好み焼き)」も振舞われた。今回のイベントでは、今年



新聞エコバッグづくりなど6つの体験コーナーが人気を集めた

## 水道事業者向け施設見学会の実施

平成24年1月31日に広島県健康福祉局食品生活衛生課水道グループ(以下、県水道グループと略します。)が主催し、当協会が共催して「水質検査の信頼性確保のための施設見学」を開催しました。施設見学には、県内の水道事業担当者17名と水道行政担当者14名、合計31名の参加がありました。

施設見学では、水道水質検査室や検査機器室を参加者が興味深く見て回り、検査室を清浄に保つため、室内の気圧を高めに設定し、空気から室外へ流れるようにするなどの汚染防止対策や、検査項目ごとに複数台

## 安全と安心を守る検査室 高精度なデータを迅速に提供

施設見学に先立ち、改正水道法施行規則(本年4月1日施行)の要点を県水道グループ中川主任が説明されました。改正水道法施行規則は、水道事業者などの水道水質検査の発注者が、当協会のような請負者を管理するために、書面による契約締結や水質検査の適

設置された最新鋭の機器に高い関心を示していました。施設見学後は、当協会の水道水質検査担当課長が、信頼性の高い検査結果を提供するために行っている取り組み内容を説明し、最後に、出席者と県水道グループ、当協会の意見交換を行いました。

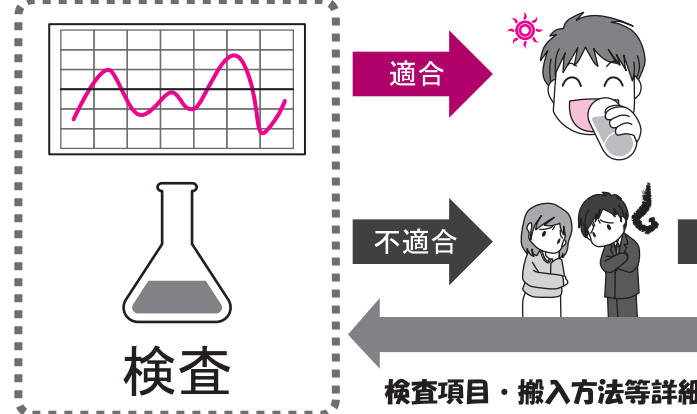


分析結果をパソコンで処理している様子

当協会は、広島県内で多くの水道水質検査を行っています。検査機関として、清潔な検査室で迅速に検査結果を提供できることが重要と考えています。今後も、迅速で信頼性の高い検査結果をもとに、県民の方々へ安心で安全な水道水が届けられる一助となることを願っております。(業務開発課 柚山 豪志)

## 水質検査のご案内

井戸水・山水などを安心してお飲みになりたい方へ



広島県では、一年に1回水質検査を行うことを推奨しています。

HEROSHIMA ENVIRONMENT & HEALTH ASSOCIATION  
NPO法人 広島県環境保健協会  
(水道法に基づく厚生労働大臣登録検査機関)  
広島市中区広瀬北町9番1号

検査項目・搬入方法等詳細についてはお気軽にお電話ください ☎ 082-293-0163